

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# 業務は順調だったのか？

# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWU**  
全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3617  
16年1月8日(金)  
・Fax 095-828-1953

おはようございます。  
マイナンバー郵便物業務で例年より半月長かった年末始繁忙業務、大変お疲れ様でした。返し年賀状はあるものの郵便の職場もほぼ通常業務に戻りました。

先日、元旦の年賀状持ち出し数が対前年度比9.5%、2、3日の持ち出しを合わせても94.7%だったと発表がありました。

ゆうパックが年末ぎりぎりまで減らなかったことを考慮しても、例年よりも若干落ち着いた繁忙期だったのではないのでしょうか。皆さんにはどう感じられたでしょうか。

私は年末26日が最後の休みで、年明け5日が最初の休みでした。短期アルバイトを雇用した26日から3日までの9日間の残業時間は8時間半ほどで入社以来最小の残業時間でした。しかし私の部でも他班には3倍を超える残業をした

社員もいます。今回の年賀状業務では班ごとの残業時間に差が大きく出たのが特徴でした。

残業時間の差は、  
1、班ごとの一区あたりの平均年賀状枚数。  
2、1区あたりの班員数。  
3、班員の熟練度。  
などが大きな要因です。

あと役職者指示の的確さなども要因となりますが、年賀状組立作業は人海戦術となるので、やはり各班の所属人数と年賀状枚数の違いが、残業数の違いになります。



ここ数年同じ傾向が見られるため、支部は年末始繁忙要求「12・各部とも、班により年賀の事務量にアンバラがある。例年超勤の多い班には役職者・他班からの応援を行ない、超勤が偏らないようにすること」と改善を求めました。長中局からは「超勤の偏りがないように配慮することとするが、業務運行を確保するために必要な超勤は命令していく」と回答があつてい

ますが、職場には反映されていたのでしょうか？

一ヶ月を越す長い繁忙期で疲労がピークとなる頃の残業です。出来るだけ前記の要因を改善し、残業時間にアンバランスの少ない業務運行となるよう改善を求めます。

## 長崎地区労

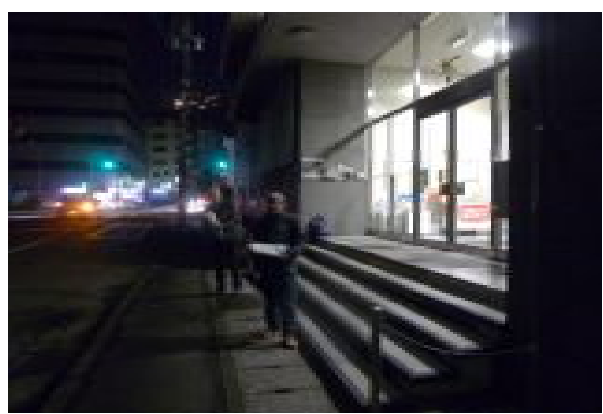
### 旗開き開催

1月5日18時より、セントヒル長崎に於いて「長崎地区労旗開き」が開催されました。旗開きには、ユニオン長中支部の3名を含め、地区労傘下の各組合や友好団体などから150名の参加がありました。

平野地区労議長の挨拶から始まり、3名の来賓の方々の挨拶後、歓談となりました。

歓談の途中には昨年4月の統一地方選挙で当選された地区労推薦の議員の方々の紹介もありました。

最後は地区労執行部全員が登壇し、議長の団結ガンパローで締めくくりました。我々郵政ユニオン長中支部も地域の仲間と共同して、打倒安倍政権、参議院選挙勝利に向けてたたかう決意を確認しました。



今年も元旦早朝ピラマキと集会を行いました。



## 地区労旗開き

郵政ユニオン長中支部  
2016年新春旗開きへ参加を！  
2016年1月9日(土)18時半から  
地区労会館で行います

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。  
1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。